

令和6年度 一宮市立浅井中小学校 教育目標

1 本校の教育目標

開校以来の「健・美・考」の教育目標のもと、一人一人の個性の伸長を図り、知・徳・体の調和の取れた児童の育成を図る。

目指す児童像

- ・健康で しんぼう強い子
- ・美しく あたたかい心をもつ子
- ・よく考え 進んで勉強する子

目指す学校像

居心地の良い学校

2 経営方針(教育目標実現のために)

(1) 確かな学力の育成

- ・基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけさせ、思考力・判断力・表現力を育む。
- ・必要な情報を主体的に収集・処理・発信する情報活用能力を育む。
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図り、授業力の向上に努める。
- ・体験的な学習を通して、他者と協働し様々な社会変化を乗り越えることができるように努める。

(2) 豊かな心の育成

- ・基本的な生活習慣の定着や道徳教育の充実を図り、声明を尊重し、善悪の判断ができる力を育む。
- ・児童一人一人の持ち味を理解し、可能性を最大限に伸ばすように努める。

(3) 健やかな体の育成

- ・望ましい生活習慣の定着を図り、生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基礎を培う。
- ・生活・交通・災害安全に対する意識を高め、危機対応能力の向上に努める。

(4) 信頼される学校づくり

- ・教職員としての使命と責任を自覚し、常に研修に励み、指導力と資質の向上に努める。
- ・家庭と地域との連携を深め、地域に積極的に情報を発信し、開かれた学校づくりに努める。

3 本年度の重点努力目標

(1) 確かな学力の育成 …よく考え 進んで勉強する子の育成を目指して

- ・学習のマナーやルール、学ぶ姿勢を身につけさせ、学習の基礎となる力をつける。
- ・「わかる・できる」に重点を置いて基礎的・基本的な理解と定着を図る。

- ・三角ロジック（※）による発表を活用し、意見をつなぐ学び合いを進める。
- ・情報社会の進展に主体的に対応できる力を育成する。
- ・学年の発達段階に応じた体験活動や係・委員会活動等を通して、働くことへの関心を高め持続可能な社会の創り手を育成する。
- ・ICTの効果的活用に努める。
- ・教科交換等を行い、学年担任制の意識で学年経営に努める。
- ・OJT研修、授業法研究や校外研修に積極的に取り組み、教師の授業力の向上に努める。

(2) 豊かな心の育成 …美しく あたたかい心をもつ子の育成を目指して

- ・ピア・サポート活動を通して、子どもたち同士で支え合うことができる力の育成に努める
- ・「特別の教科 道徳」を充実させ、全教育活動の要と位置づけ豊かな心の育成に努める。
- ・「であい・ふれあい・わきあいあい」を合言葉に、互いのよさを認め合う場の充実に努める。
- ・「あいさつ、返事、チャイム席、廊下歩行、清掃、登校・下校」の基本的な生活習慣の定着を図る。
- ・図書館利用を推進し、読書タイムや読み聞かせなどの時間をさらに充実させ、読書指導の拡充を図る。

(3) 健やかな体の育成 …健康で しんぼう強い子の育成を目指して

- ・運動する楽しさを味わわせるとともに、体育的行事やなわとび大会等に積極的に取り組ませる。
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化や歯磨き指導を通して、望ましい生活習慣の定着を図る。
- ・KYT（危険予知トレーニング）など安全教育を充実させ、事故・けがの予防に努める。

(4) 信頼される学校づくり

- ・教育の専門家としての使命と責任を自覚した魅力ある教師を目指し、常に感性を磨き続け、指導力・教師力の向上に努める。
- ・ウェブページや各種たよりを充実させ、家庭・地域に積極的に情報を発信する。
- ・いじめ・不登校などの問題行動は、組織で対応し、未然防止・早期解決に努める。
- ・学校運営協議会制度を利用し、保護者・地域の意見を学校運営に反映させることに努める。
- ・教職員にとって勤めたくなる学校になるよう、働き方改革を進め業務改善に努める。